

校長	教頭	教頭

教科	科目名	単位数	学年	学級	担当者名・印
国語	古典B	2	3	1～10	中石エリ子 印 ・ 渡久地政士 印 ・ 赤嶺昌代 印 ・ 上江洲正人 印

1 学習目標

学習の到達目標	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。		
使用教科書 副読本等	三省堂 古B335 『精選 古典B 改訂版』 桐原書店「解析古典文法」・大修館書店「ビジュアルカラー国語便覧」・いっずな書店『みるみる覚える古文単語300』 桐原書店「漢文必携」	学習形態	一斉授業

1 概要及び目標

古典としての古文と漢文を読解し鑑賞する能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てる。

1. 成績評価

成績の評価は下記の資料に基づいて総合的に行う。

- 定期テスト
 - 1, 2学期には中間考査・期末考査・実力テスト、3学期には学年末テストを実施する。
 - 中間・期末考査の出題範囲は授業内容を主とし、自主学習課題も範囲に加え、応用を含むものとする。
- 小テスト
 - 授業の中で適宜、小テスト(漢字・古典文法など)を実施。語彙力を評価し、学習意欲の向上を図るとともに学習習慣や姿勢も観察し、指導する。
- 提出物
 - 授業の進度に応じ、自宅学習向けに課したものや、長期休業中の課題の提出。
 - その他、感想文・ノート等の提出。
- 授業
 - 授業の出席状況・発問への主体的な姿勢を評価する。

2. 使用教科書・教材

- 教科書：三省堂「精選 古典B 改訂版」
- 副教材：桐原書店「解析古典文法」 大修館書店「ビジュアルカラー国語便覧」
いっずな書店「みるみる覚える古文単語300」 桐原書店「漢文必携」

3. 授業の展開と形態

- 普通科10クラス。全クラス一斉授業とする。

4. 学習方法

- 年度初めに古典の学習法についてガイダンスを行う。
- 授業は進度表に沿って行ない、適宜課題や小テストを実施して学習内容の定着を図る。
- ノート・課題等を適宜提出させる。

5. その他(履修上の注意)

- 成績評価は、定期テストを重視するが、授業態度・提出物の状況が悪い生徒については厳しく対応する。必要に応じて保護者に通知する。

■古文編 II部■

単元名・単元の目標	教材	時数	学習指導内容・評価の規準と方法
一 随筆 ○『枕草子』を読み、その自由な感性と文体の魅力にふれるとともに、清少納言の描き出した宮廷社会の伝統と文化について理解を深める。	枕草子	5	1 『枕草子』と清少納言について、I部での学習を振り返りながら文学史的な基礎知識を整理する。 2 『枕草子』を正確に読解し、清少納言のものの見方、考え方、感じ方について考える。 3 I部で扱った文法事項の確認 ◇読 各作品から読み取れる作者の美意識や機知を読み取っている。(発言・話し合い・ノート・定期考査など) ◇知 『枕草子』の文学史的な基礎知識や言語事項を、正確な読解に結びつけている。(発言・ノート・定期考査など)
二 物語(一) ○『源氏物語』の中から、光源氏、藤壺、紫の上らの登場する場面を読み、『源氏物語』への興味関心を高める	源氏物語	8	1 『源氏物語』について、文学史的な基礎知識を整理し、視聴覚教材などを活用して、主な登場人物やあら筋について紹介する。 2 登場人物の心情を状況や行動に即してどう描かれているのか考える。 3 各場面の情景描写や和歌が、その場面の主題とどう関連するのか考える。 4 『源氏物語』について調べ、レポートする。 ◇読 各場面の状況や登場人物、また、登場人物の行動や心情について正確に捉えている。(ノート・発言・話し合い・定期考査など) ◇知 『源氏物語』の特質を理解し、その知識と言語事項を読解に結びつけている。また、源氏物語の魅力を人に伝えている。(発言・ノート・レポート・定期考査など)

三 日記 ○女性の手になる日記作品を読み、当時の宮廷女性の生き方を知るとともに、それぞれの作品にあらわれたもの見方、感じ方、考え方を参考にして、作品を鑑賞する。	蜻蛉日記	8	1 日記文学について、文学史的な基礎知識を整理する。 2 撰関政治期の貴族社会の状況や、貴族の結婚などについて古典常識を整理する。 3 『蜻蛉日記』を読解し、作者の心情を考え、歌を鑑賞する。 ◇読 作品から読み取れる作者の心情、感性を理解している。また、登場人物の人物像について考えている。(発言・話し合い・ノート・定期考査など) ◇知 古典に表れた生活や心情、表現上の特徴を理解し、その知識と言語事項を読解に結びつけている。(発言・ノート・定期考査など)
四 物語 (二) ○『大鏡』を読み、描かれたエピソードや、登場人物の人物像を読み取り、もの見方・感じ方・考え方について理解を深めるとともに、そのエピソードや人物について語る語り手のスタンスを正しく捉えて鑑賞する。	大鏡	6	1 「鏡物」について、文学史的な基礎知識を整理する。語り手の人物像を捉え、過去の助動詞「き」で語られる歴史の意味について考える。 2 登場人物の行動に注意して正確に読解し、その背景にある心情を考えながら人物像についてまとめる。また、語り手のその人物に対する評価を考える。 3 他の作品や日本史学習と関連させながら、人物像を立体化する。 ◇読 登場人物の行動や心情を捉えている。(発言・ノート・定期考査など) ◇知 歴史物語の特色について理解し、その知識と言語事項を読解に結びつけている。(発言・ノート・定期考査など)
五 評論 ○さまざまな評論を読み、古典文学の根底にあるもの見方・感じ方・考え方をすることで、わが国の伝統と文化について理解を深め、古典に親しむ態度を養う。	源氏物語玉の小櫛 もののあはれ	6	1 作品の文学史的な基礎知識を整理し、さまざまな分野の評論について簡単に紹介する。 2 『源氏物語玉の小櫛』を読解し、宣長の学問観について考える。 ◇読 作品で話題になっていることを読み取り、作者や登場人物の主張を理解している。(発言・話し合い・ノート・定期考査など) ◇知 さまざまなもの見方、考え方、感じ方に視野を広げ、韻文に関する論を和歌や俳句の鑑賞に役立てている。(発言・定期考査など)
六 近世小説 ○近世小説を読み、話の展開を理解し、人間の生き方について考えを深める。	雨月物語	5	1 作品の読解を通して、登場人物の心情を読み取る。 2 近世の語彙・語法を理解する。 ◇読 登場人物の行動や心情を捉えている。(発言・ノート・定期考査など) ◇知 近世の文学史について理解している。(発言・ノート・定期考査など)

■漢文編 第Ⅱ部■

単元名・単元の目標	教材・作者	時数	学習指導内容・評価の規準と方法
一 小話 ○漢文に親しむと同時に、話の展開を整理し、そのおもしろさを味わう。	不顧後患 三横	6	1 第Ⅰ部で学んだをことを振り返りながら登場人物の言動や考え方を読み取る。 2 基本的な句法・語法を理解する。 ◇知 語句の意味や句型を理解し、正しく口語訳をしている。(発言・ワークシート・定期考査など)
二 史伝 ○『三国志』に登場する英雄たちの人物像や性格を読み取り、その織りなす世界のおもしろさにふれる。	「三国志」の世界	5	1 当時の時代背景と地理関係を把握する。 2 基本的な句法・語法を理解する。 3 それぞれの人物に関する逸話を正確に読み取り、それぞれの人物の特徴を把握する。 ◇読 登場人物たちの言動や心理を的確に読み取っている。(発言・ワークシート・定期考査など) ◇知 語句の意味や句型を理解し、正しく口語訳をしている。(発言・ワークシート・定期考査など)
三 漢詩 (一) ○古体詩を読み、詩の表現上の特色を理解し、主題を的確にとらえ、優れた表現に親しむ。	古体詩	3	1 型式・押韻・構成などを理解する。 2 基本的な句法・語法を理解する。 3 漢詩に描かれた人物や情景、心情を理解する。 4 詩を読み味わうことにより豊かな人間性を養う。 ◇知 古詩と近体詩の違い、押韻の理解。(発言・ワークシートなど) ◇読 作者の思想や感情を的確に読み取り、自分のもの見方や考え方を深めている。(発言・定期考査など)
五 史伝 (二) ○長い史伝作品の読解を通して漢文に慣れ親しみ、古代中国の歴史が持つおもしろさや登場人物の魅力を読み味わう。	司馬遷『史記』	8	1 第Ⅰ部での学習を振り返り、『史記』及び作者司馬遷について理解する。 2 戦国時代末から秦の統一に至るまでの時代背景について理解する。 3 基本的な句法・語法を理解する。 4 各場面における登場人物の言動から、その心理・心情を読み取る。 5 中国の歴史に取材した小説やドラマ・映画などにも興味をもち、積極的に親しめるようにする。 ◇知 語句の意味や句型を理解し、正しく口語訳をしている。(発言・ワークシート・定期考査など) ◇読 話の展開を理解し、登場人物の心情を的確に読み取っている。(発言・ワークシート・定期考査など)
七 思想 ○中国古代の思想家の文章を読み、そこにこめられた作者の社会・人間に対する思想を読み取り、もの見方・考え方を豊かにする。	思想と寓話	6	1 儒家・道家などの思想について理解する。 2 基本的な句法・語法を理解する。 3 簡潔な表現や巧みな比喩に注意して学習する。 4 思想の相違点について比較学習することにより、もの見方や考え方を深める。 ◇知 諸子百家について理解している。(発言・定期考査など) ◇知・読 語句の意味や句型を理解し、正しく口語訳をしている。(発言・ワークシート・定期考査など)

2020 年度 1 年国語総合 シラバス

科目名	単位数	学年	学期	必修・選択	対象学科	指導者名
国語総合	4 単位	1 学年	全	必修	普通科	林 貴子 印 仲村 優子 印 上江洲 正人 印

1. 科目の概要及び目標

中学校での学習内容をふまえ、国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

2. 授業の目標及び授業展開

(1) 授業の目標

- ① 国語で適切に表現し理解する能力を育成するとともに、伝え合う力を高める。
- ② 思考力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨く。
- ③ 言語文化に対する関心を深めるために、現代の文章や古典を読み、読書に親しむ態度を身に付ける。

(2) 授業展開

学級単位、一斉授業で行う。

3. 成績評価

成績の評価は下記の資料に基づいて総合的に行う。

- 定期テスト
 - 学期ごとに中間考査・期末考査を実施する。
 - 中間・期末考査は、授業内容からの出題を主とするが、自主学習課題も範囲に加え、応用問題を含めて出題する。
- 小テスト
 - 授業の中で、適宜小テストを実施し、学習意欲の向上を図るとともに学習習慣や学習姿勢も察し、指導する。
- 提出物
 - 授業の進度に応じ、自宅学習むけに課した課題の提出。
 - 長期休業中の課題の提出。
 - その他、意見文・ノート等の提出。
- 授業
 - 授業の出席状況・発問などに対する主体的な姿勢を評価する。

4. 学習方法

教科書を中心に読み進めていく。必要なときに関連する資料を配り、読解の手がかりとする。長期休業中には作文や詩歌創作、副教材やプリント使用したの課題を出す。

5. 使用教科書・副教材

(1) 使用教科書

『精選 国語総合 新訂版』（大修館書店）

(2) 副教材

『解析古典文法』（桐原書店）

『漢文必携』（桐原書店）

『みるみる覚える古文単語 300』（いっずな書店）

『漢文必携ノート』（桐原書店）

『トータルサポート新国語便覧』（大修館書店）

◎ 授業計画

月	教材	学習内容	評価の観点
4月	現代文編 〔随想〕 挑戦	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。	・人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかをとらえ、言葉の美しさや深さに気付いている。【読】 ・慣用句の意味を理解している。【知・理】
		文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図をとらえる。	・情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえている。【読】
5月	〔表現〕 意見文	構成を工夫して、自分の意見をまとめる。	・自分の考えの妥当性を裏付ける、客観性や信頼性の高い資料を用い、自らの論が成り立つ根拠を示している。【書】
6月	〔古文入門編〕 『宇治拾遺物語』	文章に描かれた人物、心情を表現に即して読み味わう。	・文章を表現に即して読み、「児」や「僧」の心情や人物像をとらえている。【読】 ・語句の意味について理解している。【知・理】
	「児のそら寝」	文語のきまりを理解する。	
	古文チェックポイント1		・歴史的仮名遣いについて理解している。【知・理】
7月	〔古文随筆一〕 『徒然草』 「つれづれなるままに」 「これもまた仁和寺の法師」 「高名の木登り」	登場人物の言動から、その心理を考える。 古語辞典を使って語句の意味を調べる。	・序段の内容から、書き手がなぜこの文章を書いたのか、なぜこのように書いたのかなどに迫っている。【読】 ・語句の意味について理解している。【知・理】
	現代文編 〔評論一〕 水の東西	文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図をとらえる。	・文章の具体例と抽象的表現を的確にとらえている。【読】 ・文章の組立てについて理解している。【知・理】
		適切な表現の仕方を考えて、対象を的確に表現する。	・日本文化と西洋文化の違いについて、読み手によく分かるよう論理的に説明している。【書】 ・主な常用漢字を文脈に応じて正しく書いている。【知・理】
		語句の意味を理解し、語彙を豊かにする。	・同音異義語について理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。【知・理】
	〔詩〕 「いしのうえ」 「一つのメルヘン」 「自分の感受性くらい」	文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価する。	・文章の構成やリズム感を確かめ、その特徴について考察している。【読】 ・文書の構成やリズムが、表現上の特別な効果を生み出すことがあることを理解している。【知・理】
8月	夏季休暇（課題：読書感想文と副教材等）		
9月	〔漢文編 故事〕 「借虎威」 「漁夫の利」 「蛇足」	原典に触れることにより、日本語としての成語「漁父の利」「矛盾」の意味を再確認する。訓読のきまりを理解し、書き下し文、口語訳をする。	・訓読のきまり(助詞・助動詞として読む語は平仮名で書き下すきまり)を理解している。【知・理】 ・漢語が、現代語の文章表現の骨格の一つとなっていることに気付いている。【知・理】 ・訓読のきまり(助詞・助動詞として読む語は平仮名で書き下すきまり)を理解している。【知・理】

10月	〔小説一〕 「羅生門」 ズームアップ-芥川龍之介	文章に描かれた人物、心情を表現に即して読み味わう。 幅広く文章を読み、物の見方、感じ方、考え方を豊かにする。 優れた表現についてその条件を考え、自分の表現に役立てる。	・文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、その人物像をまとめている。【読】 ・『今昔物語集』と『羅生門』とを比較し、芥川龍之介の意図について思索している。【読】
11月 12月	〔評論二〕 「自然と人間の関係を通して考える」	文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価する。	・四段落構成やそれぞれの段落の関係など、文章の筋道を的確にとらえている。【読】 ・文章の組立てについて理解している。【知・理】
12月	冬季休暇（課題：副教材等）		
1月	〔唐詩〕 絶句 律詩	日本で古くから親しまれてきた代表的な漢詩を読み味わう。	・絶句の形式や起承転結を理解して読んでいる。【読】 ・語句・語彙の構造的な仕組みについて理解している。【知・理】 ・律詩の形式や対句表現を理解して読んでいる。【読】 ・語句・語彙の構造的な仕組みについて理解している。【知・理】
2月	〔古文 歌物語〕 『伊勢物語』『筒井筒』	文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読む。 文語のきまりを理解する。	・地の文と和歌の関係をふまえて男の心情をとらえている。【読】 ・歌物語における和歌の修辞や、語句の用い方について理解している。【知・理】
3月	〔古文日記文学〕 『土佐日記』 「門出」	日記の書き手に注目し、表現や文体の特色について理解する。 文語のきまりを理解する。	・表現の技法や文体など書き手の工夫をとらえて読んでいる。【読】 ・語句の意味について理解している。【知・理】 ・文語のきまり（「なり」「ぬ」の識別）を理解している。【知・理】
3月	春季休暇（課題：副教材等）		

2020年度 2年現代文 シラバス

科目名	単位数	学年	学期	必修・選択	対象学科	指導者名		
現代文B	2単位	2	全	必修	普通科	赤嶺 昌代 印	仲地 ひろの 印	
						知念 淳 印	當山 裕璃菜 印	

1 概要及び目標

近代以降のさまざまな文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り、人生を豊かにする態度を育てる。

2 成績評価

成績の評価は下記の資料に基づいて総合的に行う。

○定期テスト

学期ごとに中間考査・期末考査を実施する。

中間・期末考査は、授業内容からの出題を主とするが、自主学習課題も範囲に加え、応用問題を含めてしゅつだりする。

○小テスト

授業の中で、適宜小テストを実施し、学習意欲の向上を図るとともに、学習習慣や学習姿勢も察し、指導する。

○提出物

授業の進度に応じ、自宅学習向けに課した課題の提出。

長期休業中の課題の提出。

その他、意見文・ノート等の提出。

○授業

授業の出席状況・発問などに対する主体的な姿勢を評価する。

3 使用教科書・教材

教科書：『精選現代文B』（三省堂）第一部

副教材：『ビジュアルカラー国語便覧』（大修館書店）

『現代語練習帳 ことのは』改訂版（いいずな書店）

4 授業の形態

普通科10クラス（9組・10組は特進クラス）一斉授業

5 学習方法

授業は新土俵に沿って行い、適宜、課題や小テストを実施して、学習内容の定着を図る。

ノート・課題等を適宜提出させる。

6 その他（履修上の注意）

成績評価は、定期テストを重視するが、授業態度・提出物が悪い生徒については厳しく対応する。

必要に応じて、保護者に通知する。

6 評価の観点の趣旨

a. 関心・意欲・態度	b. 話す・聞く能力	c. 書く能力	d. 読む能力	e. 知識・理解
国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。

7 学習指導計画

月	教材	配当	学習のねらい	言語活動例	単元の目標		具体的な評価規準	評価方法	考査
4	刈エンテーション	1							
	茂木健一郎 「最初のペンギン」	8	「最初のペンギン」が持つ意義を通じて、不確かさに立ち向かい、乗り越えるための方法について考える。	イ 論理的な文章を読んだり、筆者の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。	関心意欲態度	「最初のペンギン」が持つ意義について、事例を通じて考えようとする。	「最初のペンギン」が持つ意義について、考えを深めようとしている。	行動の観察	一学期中間考査
					読む能力	文章の内容に着目し、筆者の主張を読み取る。	文章の内容から、筆者の考えを理解している。	記述の分析	
知識理解	主な常用漢字について使い方を理解する。	主な常用漢字の音訓の正しい使い方を身につけている。	記述の点検						

月	教材	配当	学習のねらい	言語活動例	単元の目標		具体的な評価規準	評価方法	考查
5	意見文を書く	4	意見文の書き方を理解し、実際に意見文を書く。 学習指導要領の指導事項 ア/オ	イ 常識的な根拠に基づいた意見文を書くこと。	書く能力	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	関心を持った事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べるなどして、自分の意見を述べているか。	記述の点検	課題
7	西谷修 「戦争の〈不可能性〉」	9	核兵器によって、不可能な戦争の中に「宙吊り」になっている現代世界のありようについて読み取る。 学習指導要領の指導事項 ア/オ	エ 文章を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。	関心意欲態度	文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価しようとする。	語句や表現に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取ろうとしている。	行動の観察	一学期期末 考查
					読む能力	文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価している。	語句や表現に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。	記述の分析	
					知識理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	読むことに必要な文章の組立て、語句の意味、語句の用法、表記の仕方について理解している。	記述の点検	
夏期休暇課題（読書感想文）									
9	中島敦 「山月記」	18	「李徴」及び「袁傜」の視点に沿いつつ、〈語り手〉が構成する場面の意味を考える。 学習指導要領の指導事項 イ/オ	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	関心意欲態度	表現上の特色に注意しながら文章を読もうとする態度を身につける。	文章の特色に注目することで内容の深い理解を目指そうとしている。	行動の観察	二学期 中間 考查
					読む能力	人物の心情を理解しながら文章を読む。	人物の心情の推移を把握しながら文章を読み取っている。	記述の分析	
					知識理解	語句の意味や用法を的確に理解する。	漢語的な表現や語句の意味についての理解を深めている。	記述の分析	
11	岸田秀 「恐怖とは何か」	9	人間は本来的に「自我」の安定を乱すものへ恐怖を抱くという筆者の主張を読み取る。 学習指導要領の指導事項 ア/オ	イ 論理的な文章を読んで、筆者の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。	関心意欲態度	読むことを通して、思考力を伸ばしようとする態度を身につける。	評論を読むことで、視野の拡充を図ろうとしている。	行動の観察	二学期 期末 考查
					読む能力	構成を確かめながら、筆者の主張を読み取る。	筆者の考えの展開に注意しながら、文章の内容を読み取っている。	記述の確認	
					知識理解	段落相互の関係を理解する。	文章の組立てについて理解を深めている。	記述の分析	
12	宮沢賢治 「永訣の朝」	4	繰り返し音読することにより、作品世界の理解を深め、詩人の個性に触れる。 学習指導要領の指導事項 イ	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	関心意欲態度	詩のもつ独特の韻律に気づこうとする態度を身につける。	繰り返し音読することで氏の韻律に慣れようとしている。	行動の観察	二学期 期末 考查
					読む能力	描かれている情景を把握し、作者の思いを読み取る。	一つ一つの表現に即して、その意味を明らかにしている。	記述の確認	
					知識理解	詩の表現形式や修辞を理解する。	詩の表現形式や修辞について、理解している。	記述の確認	
1	「木に花咲き一短歌十五首」	4	近代から現代の代表的作者の手になる歌を読み味わい、そこに描かれている情景や作者の心理を読み取る力を養う。 学習指導要領の指導事項 イ	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	関心意欲態度	短歌を読み味わう態度を身につける。	理解したそれぞれの短歌の内容を、朗読や鑑賞文に生かそうとしている	行動の観察 記述の確認	学年 末 考查
					読む能力	それぞれの短歌について、表現されている情景や感想の中心を読み取る。	それぞれの短歌について、その情景や短歌の中心を整理し、説明することができる。	記述の確認	
					知識理解	短歌についての基礎的な知識を身につける。	韻律や句切れなどなど、短歌の基礎的な構造を理解している。	行動の観察 記述の確認	
2	夏目漱石 「ころ」	13	叙述に即して人物の心情を読み取り、近代の小説世界を想像力豊かに読み味わう。 学習指導要領の指導事項 イ/オ	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	関心意欲態度	小説の世界を、想像力豊かに読み味わおうとする態度を身につける。	表現に即して、人物や情景の描写を味わいながら小説を読もうとしている。	行動の観察	学年 末 考查
					読む能力	叙述に即して人物の心情を読み取る。	情景や会話の描写から、人物の様子について考察しながら読んでいる。	発言や記述の分析	
					知識理解	近代の文章や文学の変遷を理解する。	作者の思想や作品について、理解を深めている。	発言や記述の分析	

2020年度 2年古典B シラバス

科目名	単位数	学年	学期	必修・選択	対象学課	指導者名
古典B	2	2	全	必修	普通科	赤嶺 昌代 印 仲地 ひろの 印 知念 淳 印 當山 裕璃菜 印

1 概要及び目標

古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

2 成績評価

成績の評価は下記の資料に基づいて総合的に行う。

○定期考査

学期ごとに、中間考査・期末考査を実施する。

中間・期末考査は、授業内容からの出題を主とするが、自主学習課題も範囲に加え、応用問題も含めて出題する。

○小テスト

授業の中で、適宜小テストを実施し、学習意欲の向上を図るとともに、学習習慣や学習姿勢も察し、指導する。

○提出物

授業の進度に応じ、自宅学習向けに課した課題の提出。 長期休業中の課題の提出。 その他、ファイル・ノート等の提出。

○授業

授業の出席状況・発問などに対する主体的な姿勢を評価する。

3 使用教科書・教材

教科書：『精選古典B』（三省堂）第一部

副教材：『ビジュアルカラー国語便覧』（大修館書店）

『基礎から学ぶ解析古典文法』（桐原書店）

『基礎から解釈へ漢文必携』（桐原書店）

『みるみる見える古文単語300』（いっぴいな書店）

4 授業の形態

普通科10クラス（9組・10組は特進クラス）一斉授業

5 学習方法

授業は新土俵に沿って行き、適宜課題や小テストを実施して学習内容の定着を図る。 ノート・課題等を適宜提出させる。

6 その他（履修上の注意）

成績評価は、定期テストを重視するが、授業態度・提出物の状況が悪い生徒については厳しく対処する。

必要に応じて保護者に通知する。

7 評価の観点の趣旨

関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解
古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。	まとまりのある古典を読み、古典に表れた思想や感情を捉え、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けている。

8 学習計画及び評価方法など

月	教材	時数	学習のねらい	言語活動例	単元の目標			具体的な評価規準	評価方法	考査										
4	刈エンターション	1																		
											5	「古今著聞集」	7	和歌の修辞法や歌合をめぐる登場人物のやりとりを理解し、説話の世界を読み味わう。 学習指導要領の指導事項 ア/ウ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心意欲態度	語句や表現に即して、説話の展開を読み取ろうとする。	語句や表現に即して、説話の展開を読み取ろうとしている。	行動の観察	1 学期 中間 考査
																読む能力	文章を通して、登場人物の行動の意味を読み取る。	文章を通して、登場人物の行動の意味を読み取っている。	行動の分析 記述の確認	
知識	和歌の修辞法について理解する。	和歌の修辞法について理解している。	記述の点検																	
6	「病入膏肓」	7	比較的短い文章を読んで漢文に親しむとともに、登場人物の考え方や話のおもしろさを味わう。 学習指導要領の指導事項 イ	ア 辞書などを用いて古典の言葉と現代の言葉とを比較し、その変遷などについて分かったことを報告すること。	関心意欲態度	話のおもしろさを味わい、登場人物の生き方などについて考えようとする。	話のおもしろさを味わい、登場人物の生き方などについて考えようとしている。	行動の観察	1 学期 期末 考査											
					読む能力	登場人物の考え方を読み取る。	登場人物の考え方を読み取っている。	行動の分析 記述の確認												
					知識理解	基本的な句法・語法を理解する。	基本的な句法・語法を理解している。	記述の点検												
7	鴨長明「方丈記」	7	筆者の無常観や人生観を読み取るとともに、当時の社会状況について理解する。 学習指導要領の指導事項 イ/エ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心意欲態度	内容を踏まえて筆者の考え方や当時の社会状況を理解しようとする。	内容を踏まえて筆者の考え方や当時の社会状況を理解しようとしている。	行動の観察	2 学期 中間 考査											
					読む能力	筆者の無常観や人生観を読み取る。	筆者の無常観や人生観を読み取っている。	行動の分析 記述の確認												
					知識理解	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別する。	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別できている。	記述の点検												
9	「伊勢物語」	6	登場人物の心情を状況や行動に即して読み取るとともに、和歌の読解と鑑賞を通して歌物語の特徴を理解する。 学習指導要領の指導事項 イ/ウ 漢文に親しむとともに、登場人物の考え方や話のおもしろさを味わう。 学習指導要領の指導事項 ア/オ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。 て古典の言葉と現代の言葉とを比較し、その変遷などについて分かったことを報告すること。	関心意欲態度	物語の展開を理解し、和歌にこめられた登場人物の心情を読み取ろうとする。	物語の展開を理解し、和歌にこめられた登場人物の心情を読み取ろうとしている。	行動の観察	2 学期 中間 考査											
					読む能力	文章や和歌を通して、登場人物の行動と心情を読み取る。	文章や和歌を通して、登場人物の行動と心情を読み取っている。	行動の分析 記述の確認												
					知識理解	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別する。 歌物語の特徴を理解する。	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別できている。 歌物語の特徴を理解できている。	記述の点検												
					意欲態度	人物の生き方などについて考えようとする。	人物の生き方などについて考えようとしている。													
					読む能力	登場人物の考え方を読み取る。	登場人物の考え方を読み取っている。	行動の分析 記述の確認												
知識理解	基本的な句法・語法を理解する。	基本的な句法・語法を理解している。	記述の点検																	

月	教材	時数	学習のねらい	言語活動例		単元の目標	具体的な評価規準	評価方法	考查
10	「漱石枕流」	5	比較的短い文章を読んで漢文に親しむとともに、登場人物の考え方や話のおもしろさを味わう。 学習指導要領の指導事項 ア/オ	ア 辞書などを用いて古典の言葉と現代の言葉とを比較し、その変遷などについて分かったことを報告すること。	関心意欲態度	話のおもしろさを味わい、登場人物の生き方などについて考えようとする。	話のおもしろさを味わい、登場人物の生き方などについて考えようとしている。	行動の観察	2学期中間 考查
					読む能力	登場人物の考え方を読み取る。	登場人物の考え方を読み取っている。	行動の分析 記述の確認	
					知識理解	基本的な句法・語法を理解する。	基本的な句法・語法を理解している。	記述の点検	
11	司馬遷『史記』	8	話の展開を読み取るとともに、古代中国の歴史が持つおもしろさや登場人物の魅力を読み味わう。 学習指導要領の指導事項 ウ/エ	ア 辞書などを用いて古典の言葉と現代の言葉とを比較し、その変遷などについて分かったことを報告すること。 ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心意欲態度	著名な逸話について興味を持ち、内容を深く知ろうとする。	著名な逸話について興味を持ち、内容を深く知ろうとしている。	行動の観察	2学期末 考查
					読む能力	話の展開を理解するとともに、登場人物の心情を読み取る。	話の展開を理解するとともに、登場人物の心情を読み取っている。	行動の分析 記述の確認	
					知識理解	基本的な句法・語法を理解する。 『史記』や司馬遷について理解する。	基本的な句法・語法を理解している。 『史記』や司馬遷について理解している。	記述の点検	
12	紫式部『源氏物語』	7	登場人物の心情を状況や行動に即して読み取るとともに、『源氏物語』への理解を深め、興味関心を高める。 学習指導要領の指導事項 ウ/エ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心意欲態度	物語の内容を理解するとともに、『源氏物語』についてより深く知ろうとする。	物語の内容を理解するとともに、『源氏物語』についてより深く知ろうとしている。	行動の観察	2学期末 考查
					読む能力	登場人物の心情を、それぞれの場面に応じて読み取る。	登場人物の心情を、それぞれの場面に応じて読み取っている。	行動の分析 記述の確認	
					知識理解	基本的な敬語法について理解する。	基本的な敬語法について理解している。	記述の点検	
12	屈原「漁父辞」	5	文章の構成や展開を理解するとともに、内容を的確に読み取る。 学習指導要領の指導事項 ウ/エ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心意欲態度	文章にこめられた思想や主張を読み取ろうとする。	文章にこめられた思想や主張を読み取ろうとしている。	行動の観察	2学期末 考查
					読む能力	文章の展開を理解するとともに、筆者の考え方を読み取る。	文章の展開を理解するとともに、筆者の考え方を読み取っている。	行動の分析 記述の確認	
					知識理解	基本的な句法・語法を理解する。	基本的な句法・語法を理解している。	記述の点検	
1	儒家・道家の思想	6	儒家・道家の思想を理解するとともに、人間の生き方やあり方についての考えを深める。 学習指導要領の指導事項 ウ/エ/オ	エ 古典を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果を発表したり文章にまとめたりすること。	関心意欲態度	個々の相違点を意識しながら、儒家・道家の主張を理解しようとする。	個々の相違点を意識しながら、儒家・道家の主張を理解しようとしている。	行動の観察	学年末 考查
					読む能力	簡潔な表現や巧みな比喩に注目しながら、内容を的確に読み取る。	簡潔な表現や巧みな比喩に注目しながら、内容を的確に読み取っている。	行動の分析 記述の確認	
					知識理解	基本的な句法・語法を理解する。 儒家・道家の思想について理解する。	基本的な句法・語法を理解している。 儒家・道家の思想について理解している。	記述の点検	
2	『更級日記』	6	作者のものの感じ方や洞察力を読み取るとともに、その心情を理解する。 学習指導要領の指導事項 ウ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方について、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	意欲態度	風景や人物に対する作者の感じ方や洞察力を理解しようとする。	風景や人物に対する作者の感じ方や洞察力を理解しようとしている。	行動の観察	学年末 考查
					読む能力	作者のものの感じ方を通して、その心情を理解する。	作者のものの感じ方を通して、その心情を理解している。	行動の分析 記述の確認	
					知識理解	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別する。	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別できている。	記述の点検	
3	『人虎伝』	5	話の展開を整理し、登場人物の言動などを的確に読み取るとともに、日本の近代文学と読み比べる。 学習指導要領の指導事項 エ/オ	イ 同じ題材を取り上げた文章や同じ時代の文章などを読み比べ、共通点や相違点などについて説明すること。	関心意欲態度	話のおもしろさを味わい、登場人物の生き方などについて考えようとする。	話のおもしろさを味わい、登場人物の生き方などについて考えようとしている。	行動の観察	学年末 考查
					読む能力	登場人物の言動や心理などを的確に読み取る。	登場人物の言動や心理などを的確に読み取っている。	行動の分析 記述の確認	
					知識理解	基本的な句法・語法を理解する。	基本的な句法・語法を理解している。	記述の点検	

「2020年度 3年現代文B シラバス

科目名	単位数	学年	学期	必修・選択	対象学科	指導者名
現代文B	3単位	3	全	必修	普通科	中石 エリ子 印 赤嶺 昌代 印 渡久地 政士 印 上江洲 正人 印

1. 概要及び目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

2. 成績評価

成績の評価は下記の資料に基づいて総合的に行う。

- 定期テスト
- 学期ごとに中間考査・期末考査を実施する。
- 中間・期末考査は、授業内容からの出題を主とするが、自主学習課題も範囲に加え、応用問題を含めて出題する。
- 小テスト
- 授業の中で、適宜小テストを実施し、学習意欲の向上を図るとともに学習習慣や学習姿勢も察し、指導する。
- 提出物
- 授業の進度に応じ、自宅学習むけに課した課題の提出。
- 長期休業中の課題の提出。
- その他、意見文・ノート等の提出。
- 授業
- 授業の出席状況・発問などに対する主体的な姿勢を評価する。

3. 使用教科書・教材

- 教科書：『精選現代文B』（三省堂）第二部
- 副教材：『ビジュアルカラー国語便覧』（大修館書店）

4. 授業の形態

- 普通科 10クラス(9組・10組は特進クラス)一斉授業。

5. 学習方法

- 授業は進度表に沿って行ない、適宜課題や小テストを実施して学習内容の定着を図る。
- ノート・課題等を適宜提出させる。

6. その他(履修上の注意)

- 成績評価は、定期テストを重視するが、授業態度・提出物の状況が悪い生徒については厳しく対応する。必要に応じて保護者に通知する。

7. 評価の観点の趣旨

a. 関心・意欲・態度	b. 話す・聞く能力	c. 書く能力	d. 読む能力	e. 知識・理解
国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。

8. 学習計画及び評価方法 (標準時数 年間 35週 105時間)

第 1 学 期						
月	教材	学習のねらい	言語活動の例	単元 の目 標	具体的な評価規準	
4	オリエンテーション					
5	鷺田清一 「わかりやすいはわかりにくい？」 学習指導要領の指導事項 ア/オ	論旨を正確に追いながら、筆者の言う「思考」における「肺活量」が持つ意味について読み取る。	イ 論理的な文章を読んで、筆者の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。	関心・意欲・態度	「思考」における「肺活量」の必要性について、引用事例を通じて考えようとする。	「思考」における「肺活量」の必要性について、引用事例を通じて考えようとしている。
				読む能力	引用事例に着目し、筆者の主張を過不足なく読み取る。	引用事例に注目し、筆者の考えを理解している。
				知識・理解	主な常用漢字について使い方を理解する。	主な常用漢字の音訓の正しい使い方を身につけている。
5	安部公房 「鞆」 学習指導要領の指導事項 イ/オ	「鞆」に対する「私」の考え方の変化を読み味わう。	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	関心・意欲・態度 読む能力 知識・理解	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとする。 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の行動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。 文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の行動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。 言語が文化の享受や発展にどのように関わっているのかについて理解している。
6	意見文を書く	学習指導要領の指導事項 エ	関心をもった事柄について様々な資料を調べ、自分の意見を論理的述べること。	書く能力	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	関心をもった事柄について、様々な資料を調べるなどして自分の意見を論理的に述べているか。
	中間 考 査					
	池上嘉彦 『ブーボー』と『マンマ』の記号論 学習指導要領の指導事項 ア/オ	筆者が述べる「符号」と「記号」の違いをふまえ、人間が日常を超えようとする創造の営みについて考える。	イ 論理的な文章を読んで、筆者の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。	関心・意欲・態度	文章の構成や展開を確かめ、筆者の意図を捉えようとする。	語句や表現に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取ろうとしている。
				読む能力	文章の構成や展開を確かめ、筆者の意図を捉えている。	語句や表現に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。

7				知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	読むことに必要な文章の組立て、語句の意味、語句の用法、表記の仕方について理解している。
	大岡昇平 「靴の話」	靴を巡る出来事やその描写を通して、「私」の置かれていた心理状態について読み味わう。	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	関心・意欲・態度	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとする。	文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の行動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。
		学習指導要領の指導事項 イ/オ		読む能力	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。	文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の行動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。
				知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	言語が文化の享受や発展にどのように関わっているのかについて理解している。
期 末 考 査						
7	高村光太郎 「樹下の二人」	近代から現代の代表的詩人の詩を読み味わい、そこに描かれている情景や作者の心理を読み取る力を養う。	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	関心・意欲・態度	詩歌を読み味わう態度を身につけ、相手に理解される朗読をしようとしている。	詩歌の思想や感情を理解して朗読しようとしている。
	鮎川信夫 「死んだ男」	学習指導要領の指導事項 イ		読む能力	それぞれの詩歌について、表現されている情景や感動の中心を読み取る。詩歌に用いられている表現技法を理解する。	筆者の感じ方や考え方を捉えながら詩歌を読んでいる。詩歌に用いられている修辞について理解を深めている。
	島崎藤村 「小諸なる古城のほとり」			知識・理解		
7	渡り鳥— 俳句十五句	近代から現代の代表的作者の手になる十五句を読み味わい、そこに描かれている情景や作者の心理を読み取る力を養う。	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	関心・意欲・態度	俳句独特の韻律に気づこうとする態度を身につける。	繰り返し音読することで俳句の韻律に慣れようとしている。
		学習指導要領の指導事項 イ		読む能力	情景や感動の中心を考察しながら俳句を読む。	思想や感情に注意しながらそれぞれの句を読んでいる。
				知識・理解	俳句の表現形式を理解する。	俳句の形式や修辞などについての理解を深めている。
夏 季 休 業						
第 2 学 期						
月	教材	学習のねらい	時数	単元 の 目 標	具体的な評価規準	
8 9	大西赤人 「判断停止の快感」	現代の「清潔願望」が「判断停止の快感」へとつながっているという筆者の論理展開を読み取った上で、自分の考えを整理する。 学習指導要領の指導	イ 論理的な文章を読んで、筆者の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。	関心・意欲・態度	自分の経験と照らし合わせながら文章を読もうとする態度を身につける。	現代社会の問題点を考えながら文章を読もうとしている。
				読む能力	問題意識を持って考察しながら文章を読む。	考えを深めたり発展させたりしながら文章を読んでいる。

		事項ア/オ		知識・理解	必要な情報を収集し整理する方法を理解する。	事実や状況を客観的に捉える方法について理解を深めている。
10	柳澤桂子 「病と科学」	人間が「科学」とどのように向き合うべきかについての理解を深めた上で、自分の考えを整理する。 学習指導要領の指導事項 ア/オ	イ 論理的な文章を読んで、筆者の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。	関心・意欲・態度	読むことを通して、題材やテーマについて考察しようとする態度を身につける。	評論を読むことで、ものの見方や考え方を広げようとしている。
				読む能力	論理の展開をたどりながら文章を読む。	文章の組み立てに注意しながら筆者の思考の筋道を読み取っている。
				知識・理解	段落構成の関係を理解する。	段落相互の働きについて理解を深めている。
中間 考 査						
11	小川洋子 「飛行機で眠るのは難しい」	小説世界を読み味わいながら、「男の話」を聞き終えた「私」に起こった変化とその理由について考える。 学習指導要領の指導事項 イ/オ	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	関心・意欲・態度	小説の情景や登場人物の心情を読み味わおうとする態度を身につける。	想像力を働かせながら情景や心情を読もうとしている。
				読む能力	人物の置かれた状況や場面の情景を理解する。	人物の行動や思考・心情を捉えながら読んでいく。
				知識・理解	表現上の効果を理解する。	語句に関して、文脈上の意味への理解を深めている。
12	見田宗介 「南の貧困／北の貧困」	筆者の論理展開をふまえて、「豊かさ」について考察し、自分の考えを整理する。 学習指導要領の指導事項 ア/オ	イ 論理的な文章を読んで、筆者の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。	関心・意欲・態度	筆者のものの見方や考え方に触れようとする態度を身につける。	視野を広げ思考を進めながら文章を読もうとしている。
				読む能力	表現上の特色に注意しながら文章を読む。	用語や文体や修辞などに注目しながら文章を読んでいる。
				知識・理解	自分の考えを文章にまとめる方法を理解する。	組み立てのしっかりした文章を書く方法を身につけている。
期 末 考 査						
12	岡真理 「虚ろなまなざし」	一枚の写真とそれを巡る出来事に対する筆者の問題意識を読み取る。 学習指導要領の指導事項 ア/オ	エ 文章を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。	関心・意欲・態度	筆者の問題意識を把握しながら文章を読もうとする態度を身につける。	筆者の問題意識を把握しながら文章を読もうとしている。
				読む能力	文章を読むことを通して、視野の拡大と思考の深化を目指す。	筆者の考えをもとに自分の考えを深め、発展させようとしている。
				知識・理解	正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やす。	複合語や連語などについての理解を深めている。
冬 季 休 業						
第 3 学 期						
月	教材	学習のねらい	時数	単元の目標	具体的な評価規準	
1	宮下紘 「忘れられる権利」	「忘れられる権利」をめぐる現状の問題点を踏まえたうえで、今後のルールのあり方について考える。	エ 文章を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成	関心・意欲・態度	読むことを通して、主体的に考えようとする態度を身につける。	論点を整理しながら、自分の考えを表現しようとしている。

2		学習指導要領の指導事項 ア/オ	果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。			
				読む能力	論理の展開に注意して、文章を読む。	題材や材料、文の組立てに注意しながら、読み取っている。
				知識・理解	語句の意味や用法を的確に理解する。	語句の意味や用法の微妙な違いについて、理解を深めている。
	学年末考査					
	加藤周一 「日本文化の雑種性」	筆者の考える「日本文化の雑種性」について理解を深める。 学習指導要領の指導事項 ア/オ	エ 文章を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。	関心・意欲・態度	読むことを通して、筆者の論理展開の仕方を把握しようとする態度を身につける。	結論の導き方に注意しながら文章を読もうとしている。
				読む能力	論理展開を捉えるための文章構成について理解する。	個々の段落の働きを確かめながら文章を読んでいる。
				知識・理解	文章の構成の仕方を理解する。	具体例・説明・補足・反証などの文章構成について理解を深めている。

2020年度 3年古典応用（特進クラス）シラバス

科目名	単位数	学年	学期	必修・選択	対象学科	指導者名
古典応用	2	3	全	選択	普通科	赤嶺 昌代 印

1 概要及び目標

1年で既習の「国語総合」（古典分野）、及び2、3年で継続履修している「古典B」の内容等を参照し、古典の基本的事項を再確認するとともに、理解を深め、問題演習を通して、様々な古典作品を読み味わう。

2 成績評価

成績の評価は下記の資料に基づいて総合的に行う。

○定期テスト

- 1、2学期は中間考査・期末考査、3学期には学年末考査を実施する。
- 中間考査・期末考査は、授業内容を主にし、自主学習課題も範囲に加え、応用を含めて出題する。

○小テスト

- 授業の中で、適宜小テストを実施する。語彙力を評価し、学習意欲の向上を図るとともに、学習習慣や姿勢も観察し、指導する。

○提出物

- 授業の進度に応じ、自宅学習向けに課したものや、長期休業中の課題の提出。
- その他、ノートやファイル等の提出。

○授業

- 授業の出席状況・発問の主体的な姿勢を評価する。

3 使用教科書・教材

- 副読本：『力をつける古典 ステップ2.5』（数研出版）
- 『ビジュアルカラー国語便覧』（大修館書店）
- 『解析古典文法 三訂版』（桐原書店編集部編）
- 『みるみる見える古文単語300』（いいずな書店）
- 『基礎から解釈へ漢文必携』（桐原書店）

4 授業の形態

- 普通科（特進クラス）からの選択、一斉授業

5 学習方法

- 学年はじめに古典の学習法についてガイダンスを行う。
- 授業は進度表に沿って行い、適宜課題や小テストを実施して、学習内容の定着を図る。
- 課題等を適宜提出させる。

6 その他（履修上の注意）

- 成績評価は、授業態度・提出物の状況と定期考査を総合的に勘案する。

7 評価の観点の趣旨

関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解
古典の読む能力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。	古典の文章を読み古典に表れた思想や感情を捉え、自分の考えを深め発展させている	伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身につけている。

8 授業計画

学期	月	指導内容	配当時間	評価の基準
1 学期	4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ (古文) 動詞・形容詞・形容動詞 ・ (古文) 助動「る」他 	6	読む能力 知識・理解
	5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ (古文) 助詞「き」他 ・ (古文) 識別「けれ」他 	6	
	6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ (古文) 敬語の種類 ・ (古文) 敬意の方向 	6	
	7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ (古文) 和歌の修辞 ・ (古文) 復習 ・ (漢文) 再読文字 ・ (漢文) 否定の基本・禁止 他 	8	
2 学期	9 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ (漢文) 二重否定 ・ (漢文) 使役/受身 ・ (漢文) 疑問 	8	読む能力 知識・理解
	10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ (漢文) 反語 ・ (漢文) 感嘆・詠嘆 ・ (漢文) 比較・比況・選択 	8	
	11 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ (漢文) 仮定・限定 ・ (漢文) 累加・抑揚 ・ (漢文) 希望・願望 ・ (漢文) 漢詩 	8	
	12 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ (古文) 実践 ・ (漢文) 実践 	8	
3 学期	1 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合演習 	8	読む能力 知識・理解
	2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合演習 	4	
	3 月			

2020年度 3年国語表現 シラバス

科目名	単位数	学年	学期	必修・選択	対象学科	指導者名
国語表現	2単位	3年	全	選択	普通科	仲地 ひろの 印 知念 淳 印 中石 エリ子 印 仲村 優子 印 林 貴子 印 當山 裕璃菜 印

1. 概要及び目標

- ① 中学校での学習をもとに、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の学習をバランスよく取り入れたうえで、「読むこと」との関連も視野に入れ、適切に表現する力を育成し、伝え合う力を高めるための、表現する側と表現される側と双方からの立場での実際的なコミュニケーション学習を中心に、高等学校でのすべての学習を支える基礎力を養う。
- ② 伝え合う力を高めるための実際的なコミュニケーションを想定した学習を中心に、思考力を伸ばし言語感覚を磨き、すすんで表現する態度を身につけ、社会性を高める。

2. 成績評価

成績の評価は下記の資料に基づいて総合的に行う。

- 提出物
 - 授業の進度に応じ、自宅学習むけに課した課題の提出。
 - 長期休業中の課題の提出。
 - その他、意見文・ノート等の提出。
- 授業
 - 授業の出席状況・発問などに対する主体的な姿勢を評価する。
- テスト
 - 学期に考査を実施する場合もある。
 - 考査は、授業内容からの出題を主とするが、応用問題を含めて出題する。

3. 使用教科書・教材

- 教科書:『国語表現 改訂版』(大修館書店)
- 副教材:サクセス小論文ノート1(桐原書店)
サクセス小論文ノート7(桐原書店)

4. 授業の展開と形態

- 普通科文系1～5組から選択した4クラス。普通科理系6～8組から選択した3クラス。普通科(特進クラス)9・10組から選択した2クラス。

5. 学習方法

- 主述の関係、副詞の呼応、文末表現の統一、話し言葉と書き言葉の違いなど、整った文を書くために大切な最も基本的な言語能力の確認。
- 発音・発声からスピーチ、プレゼンテーション、その場に応じた会話・発言や発表など、実際的な「話すこと・聞く

こと」に関する言語表現の訓練と学習。

- 手紙やメールなどの通信文の書き方、ネットを用いたコミュニケーションの特長と使用する上での留意点に関する学習。
- コラム、小論文やレポートなど実際の「書くこと」に関連する言語表現の訓練と学習。
- ことば遊びや詩歌など、身近な題材から広がる言語表現をより深める訓練と学習。
- 会議、面接など具体的な場を想定した適切な言語表現をより深める訓練と学習。
- 日本語の基礎となるさまざまな事項(漢字・敬語・構文など)と約束ごと、表現をよりよいものにするための工夫など、言語表現の方法・能力・知識に関する学習。

4. その他(履修上の注意)

- 成績評価は、提出物及びテストを重視するが、授業態度の状況が悪い生徒については厳しく対応する。必要に応じて保護者に通知する。

◎授業計画

月	領域	単元・考査等	学習内容	評価の基準
4	書いて伝える	1 整った文を書く 2 わかりやすい文を書く 3 文のつなぎ方 4 絵や写真を見て書く	<ul style="list-style-type: none"> ・主述の関係、副詞の呼応、文末表現の統一、話し言葉と書き言葉の違いなど、整った文を書くために大切なことを理解する。 ・長すぎる文を避け、わかりやすい文にする方法を理解する。 ・読点を適切に打ち、あいまいな文を避けることの大切さを理解する。 ・接続表現の種類と働きを理解する。 ・文脈による文のつながりを理解する。 ・図や写真を見て文章を書き、相手に伝わる文章を書くために必要なことを理解する。 ・相手に伝えることを意識してわかりやすい文章を書く 	書く能力 知識・理解 関心・意欲・態度
5	小論文・レポート入門	1 小論文とは何か 2 反論を想定して書く 3 文章を読み取って書く 4 統計資料を読み取って書く	<ul style="list-style-type: none"> ・小論文の基本的な書き方を理解する。 ・意見を筋道を立てて書く。 ・原稿用紙の使い方や推敲の観点を理解する。 ・自分の意見とは対立する意見を考慮しながら書くことの意味を理解する。 ・反論を想定して書く構成を理解し、それに沿って小論文を書く。 ・文章の要旨をつかむための方法を理解する。 ・資料に対する自分の意見を明確にして小論文を書く。 ・さまざまな種類のグラフの特徴を知り、その読み取り方を理解する。 ・資料から読み取ったことをふまえて、自分の意見を明確にして小論文を書く。 	書く能力 知識・理解 読む能力 関心・意欲・態度
6		1 発想を広げて書く 2 レポートを書く 3 論文を書くために	<ul style="list-style-type: none"> ・発想を広げるための方法を理解する。 ・発想を広げるための方法を活用して、小論文を書く。 ・レポートの基本的な書き方を理解する。 ・客観的な根拠を集めて、説得力のあるレポートをまとめる。 ・論文執筆の進め方とそのポイントを理解する。 ・引用の方法、参考文献や注の示し方を理解する。 	知識・理解 書く能力 関心・意欲・態度

7	自己PRと面接	<ol style="list-style-type: none"> 1 自分を見つめて 2 効果的な自己PR 3 将来の自分を考えよう 4 志望動機をまとめよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考える。 ・他者の意見を聞いて、自分の長所を見つける。 ・自分の長所を端的に表現した、印象に残るキャッチフレーズを作る。 ・事実やできごとをふまえて、効果的な自己PRをする。 ・就きたい職業に就くために必要なことを調べる。 ・調べたことをふまえて、「将来の自分」について文章にまとめる。 ・志望先について十分な情報を集める。 ・調べたこと、やりたいこと、自己PRの三つを結びつけ、説得力のある志望動機を書く。 	<p>知識・理解 話す・聞く能力 関心・意欲・態度</p>
9		<ol style="list-style-type: none"> 1 相手や場面に応じた会話 2 面接にチャレンジ 	<ul style="list-style-type: none"> ・場面にふさわしい言葉遣いを考える。 ・適切な言葉遣いでロールプレイをする。 ・適切な言葉遣いや態度で面接の受け答えをする。 ・質問に対して、具体的で説得力のある答え方を考える。 	<p>知識・理解 話す・聞く能力 関心・意欲・態度</p>
10	会話・議論・発表	<ol style="list-style-type: none"> 1 議論して結論を出す 2 プレゼンテーションの工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・司会者などの役割を理解し、建設的な議論になるように協力し合いながら話し合いをする。 ・話し合いに積極的に参加し、結論を出すために貢献する。 ・視覚的資料を用いながら、効果的なプレゼンテーションをする。 	<p>知識・理解 話す・聞く能力 関心・意欲・態度</p>
11	メディアを駆使する	<ol style="list-style-type: none"> 1 通信文を書き分ける 2 電話を使いこなす 3 ネット社会とコミュニケーション 4 メディアと情報 	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな通信文の形式を理解する。 ・相手や目的に応じて適切な形式を選び、通信文を書く。 ・初対面や目上の相手に対する電話での話し方を理解する。 ・相手に応じた適切な言葉遣いや対応のしかたを理解する。 ・ネットを用いたコミュニケーションの長所と使用する上での留意点を理解する。 ・電子メールを活用する上でのエチケットを理解する。 ・情報が編集されたものであることを理解する。 ・メディアごとに立場や条件が異なり、情報の伝え方が異なることを理解する。 	<p>知識・理解 話す・聞く能力 書く能力 関心・意欲・態度</p>
12		<ol style="list-style-type: none"> 1 開廷！模擬裁判 2 演説合戦にチャレンジ 	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬裁判において、根拠をふまえて自分の意見を述べたり、議論を重ねて結論を導いたりする。 ・賛成か反対かを明確にし、聞き手を説得できるように、筋道を立てて話す。 ・意見の根拠に注意し、説得力があるかどうかを考えながら聞く。 	<p>知識・理解 話す・聞く能力 関心・意欲・態度</p>
1	表現を楽しむ	<ol style="list-style-type: none"> 1 言葉で遊ぶ 2 詩歌を楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな言葉遊びを知り、おもしろさを味わうことを通して、言語文化に対する理解を深める。 ・言葉遊びの仕組みやおもしろさを理解し、オリジナルの作品を作る。 ・さまざまな詩歌を読み、味わうことを通して、言語文化に対する理解を深める。 ・さまざまな詩歌の鑑賞をふまえて、表現を工夫しながら詩を創作する。 	<p>書く能力 知識・理解 関心・意欲・態度</p>
2		<ol style="list-style-type: none"> 1 エッセイを書こう 	<ul style="list-style-type: none"> ・着眼点、構成、文体、表現などに留意しながら、さまざまなエッセイを読み、味わう。 ・読んだエッセイを参考にして、効果的な表現を工夫しながら自分でエッセイを書く。 	<p>書く能力 知識・理解 関心・意欲・態度</p>

